

# 会報 しんせき 第22号

平成24年7月19日  
発行責任者  
新聞コミュニティ協議会  
会長 瀬戸範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新聞コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新聞コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



ペットボトルで作った「風車<sup>かざぐるま</sup>」。ゆっくり回ったり、勢いよく回ったり、時々休んだり・・・じっと見ていると心が癒されます。回ると涼しさも感じられます。

簡単にできます。みなさんも作ってみませんか。

「風車」はゆっくりと回ったり元氣よく回ったり、時にはのんびりと休んだり「風任せの人生?」。何かと騒がしい社会にあって、うらやましい限りです。

新潟地方も梅雨明け宣言がありました。しかし、九州地方を襲った豪雨はまたもや甚大な被害をもたらしました。昨年の7月30日新潟福島豪雨を思い出します。

最近では竜巻も各地で大暴れ。竜巻は、よその国の出来事のように思っておりましたが・・・繰り返される自然災害はどまることがありません。災害が発生するたびに被害にあわれた方々は異口同音に、「かつて経験したことがなかった・・・。」というコメントを発しておられます。

とにかく想像を絶するような極端な自然災害が頻りに起こっています。遠くアメリカでは、かつてないほどの干ばつに襲われ、大豆などに被害が出ているとか。このことは結局日本経済にも影響を及ぼすことでしょう。世界中で異変が起こっているようです。

さて、新聞コミュニティ協議会では、備えを万全にと6月12日に自主防災訓練を行いました。また、いつまでもお元気でと7月8日には七夕福祉の集い(敬老会)も行いました。地域の皆様や関係者のご協力に感謝申し上げます。

## 6月10日(日) 里山ウォーキング

前日の雨で、参加を見合わせた方もおられましたが、雨も上がり予定通り実施しました。このところ初めて参加される方が多くなり心強く思っています。

伊藤文化教養部長さんの野鳥や植物の講話を聴き、さっそく小口公会堂を出発しました。まず若宮廟をめざし通称「百段坂」を上りました。真っ赤な野イチゴに子供は大喜び。大人も子供のころを思い出して口に入れていました。今年もまたアザミの花色に感動しました。時々立ち止まっては、植物の名前を確かめあったり小鳥の声に耳を傾けたりして有意義なウォーキングとなりました。



野イチゴ

○「森林浴」は確かに健康に良いようです。  
○参加者同士の会話がまた楽しい。来年もぜひご参加ください。



アザミの花を見ながら...  
(白黒写真ですみません)



## 新聞フロック青少年健全育成会

(7月13日)



## 新聞地区防犯懇談会

(7月19日)

## 開催される

青少年健全育成会では、児童生徒の携帯電話とその危険性、新聞地区防犯懇談会では、振り込め詐欺の新たな手口についてビデオを使つての講話がありました。◆とにかく危険がいっぱいです。大人も子供も十分気を付けなければと思いました。家庭でも話し合いが必要ですよ。

## 新聞地区

## ゴルフ大会開催

6月10日(日)

今年も笹神五頭ゴルフ場にて新聞地区ゴルフ大会が行われ、日頃の練習の成果(?)を發揮しあいました。

(株)ブルボン様、池田建設様からご厚志(賞品)をいただきました。感謝申し上げます。



新聞コミ協杯を受ける優勝者の比金良一さん(左)



おじいちゃんおばあちゃん いつまでも元気でね！

# おひさま保育園児も激励



7  
月  
8  
日

## しんせき七夕福祉の集い (敬老会)

来年も元気で お逢い しましょう



◇「おひさま保育園児(年長組)のダンスと激励の握手で、おじいちゃんおばあちゃんは恵比寿顔。そして、「レクダンスのみなさん」による「ふるさと新聞」の踊りで「一気に会場は盛り上がりました。」「ごや一座」さんによる楽しい踊りや民謡に笑いと拍手喝采。

◇次から次へと多彩で変化に富んだ出し物が繰り出され笑顔があふれていました。これからも元気で過ごしてください。



## 防災訓練

想定(平成24年6月12日午前10:15)  
 ◇佐渡付近に地震発生。  
 ◇震度4の揺れを観測。地形等の状況により道路の陥没、橋の破損、がけ崩れや倒木、ブロック塀の倒壊などが想定される。  
 ◇新関コミュニティセンターに災害対策本部を設置。地域の被害状況の把握や通学路の安全確認指示。

## 災害時における児童の安全な登下校を支援するために 新関コミュニティ自主防災組織と地域、学校の三者が連携した自主防災訓練実施



おひさま保育園児も参加

◆自主防災組織を結成して4年目。今回は、災害時における児童の安全な登下校のあり方を考えることに主眼を置きました。

◆そのため、地域の大人と子供同士が顔見知りになることが重要です。お互いに自己紹介をしたりして顔と名前が一致するようにしました。不審者対策にもなります。

◆今回の訓練は、地域や学校そして、新関コミュニティ自主防災組織が一体となって実施したものです。このような訓練は、近隣にはあまり例がなく高く評価されました。

◆訓練の様子は、DVDに収録され秋葉区より寄贈されました。いづれ皆さまにもご覧いただける機会をと思っております。



グラウンドに避難する児童



校長先生のお話を聞く児童



自己紹介をし合う地域のみなさんと児童

